



高まる「サイバーインシデント」の脅威、 あなたの部門の備えは万全ですか

サイバーセキュリティ対策は、ネットワーク上の防御だけではありません。中長期的な計画から、発生時の事業継続性を考慮した対応まで、戦略的に実施する必要があります。

本演習では部門責任者層を対象として、**業界別のシナリオによる実践的演習**の形式で、企業が直面するサイバーリスクへの対応について学ぶ機会をご提供します。



令和元年度受講者の声

- 技術的なスキルで解決できることと経営層視点で考えるべきことをチームで協議でき、有意義であった。
- 各所属（経営・管理・現場）で担う役割を明確にし、社内に浸透させる必要があると感じた。
- 他業種であれ、共通課題やベストプラクティスがあり有益であった。業界の底上げをより考えていきたい。

受講対象者 CISO相当の役割を担う方、
IT部門・生産部門などの
責任者・マネージャークラスの方

開催日程 令和2年5月22日（金）～ 23日（土）

受講料 8万円（税込）

定員 30名程度

※最少催行人員は10名です。

対象業界 情報通信・自動車（スマートモビリティ）、ガス、金属、石油、化学
※申込方法等の詳細はIPA公式ホームページまたはQRコードよりアクセスしてください。



講師プロフィール

【門林 雄基 奈良先端科学技術大学院大学 教授】

- 産官学連携によるサイバーセキュリティ研究開発に20年以上、サイバーセキュリティ人材育成に10年以上にわたり従事。
- 欧米セキュリティ専門機関とともにサイバーセキュリティ国際標準化を推進。
- 予測困難なサイバーリスクと対峙するために、情報交換とならんで相互理解やプロフェッショナル人脈の重要性を説く。



日付	時間	
1日目	10:00~11:00	オープニング 【導入講義】 <ul style="list-style-type: none"> ● 業界別サイバーセキュリティ課題の見取り図の提示
	11:00~17:00 ※途中昼食休憩あり	【グループワーク】 <ul style="list-style-type: none"> ● 仮想企業を想定し、課題をシナリオ形式で抽出 ● 発表のためのポスター作成
	17:00~18:00	【グループ学習&個人学習】 <ul style="list-style-type: none"> ● 海外動向やケーススタディ資料に基づき、2日目に備えてのテーマを深掘り
	18:30~20:00	【懇談会(任意参加)】 <ul style="list-style-type: none"> ● 受講生・講師・関係者等との人脈形成、ネットワーク構築
2日目	9:30~13:30 ※途中昼食休憩あり	【グループワーク】 <ul style="list-style-type: none"> ● 仮想企業を想定し、課題をシナリオ形式で抽出 ● 発表のためのポスター作成
	13:30~15:30	【グループ発表】 <ul style="list-style-type: none"> ● 仮想企業におけるサイバーセキュリティ成熟度向上
	15:30~16:30	【集中講義】 <ul style="list-style-type: none"> ● 海外の規制、ガイドライン、セキュリティ標準の解説に関する集中講義
	16:30~17:30	【総合討論・全体講評】 <ul style="list-style-type: none"> ● 講師陣による講評
		クロージング